

Full Speed

月刊SEOレポート 2015年3月版

Monthly [SEO](#) Report

Vol.60

本書のGrowth Seed VOICEでも書きましたが、GoogleのSearch Quality Analystなどがセミナーなどに参加し、様々な情報を提供していただける機会も増えています。Googleの公式ブログでは多くの情報が公開されています。全てがWebマスターにとって有益な情報です。しかしながら、Googleが発信することが全てにおいて正しい答えではないと思っています。

- ✓ HTTPSのランキングアルゴリズム導入
- ✓ レスポンシブ・ウェブデザインの推奨
- ✓ モバイルフレンドリーの導入

これらは最近Googleが導入した一部です。これらに対応することはサイトにとって理想的なことではありますが、全てのサイトに当てはまる正しい回答ではありません。

HTTPSは現時点では導入したことで際立った順位への変化を観測できておらず、SEO目的でHTTPSの導入を検討するのであれば、コンテンツ追加などに労力を費やしたほうがサイトの成長につながります。レスポンシブ・ウェブデザインでサイトを制作したからと言って、順位向上に役立つわけではありません。

最近のホットな話題、モバイルフレンドリーの導入はモバイルテストに合格し「モバイル対応」のラベルが付けばフレンドリーなサイトと認定されます。しかし、ページの品質までは考慮にいていないため、ラベルが付いていることでユーザーが満足するわけではありません。

Googleが発信する事柄はひとつのヒントと捕えて、ユーザーにとってどの選択肢がベストかを優先して選ぶ目線が大切です。

サイトを使うのはあくまでもユーザーです。ユーザーを満足させる体験や経験（エクスペリエンス）を提供できるのか、これを判断基準に検討しましょう。

SEOコンサルティング事業部
SEOコンサルタント 深井



04 検索エンジン最新トピック

10 全体的な順位変動の状況

12 Growth Seed VOICE

SEO Report

検索エンジン
最新トピック

Section 01

検索エンジン最新ニュース

検索マーケティングに関わるお役立ち情報をご紹介します。

Google

日付	タイトル	概要	詳細
03/13	ウェブマスターツールの新機能	画像、CSS ファイル、JavaScriptなど、Googlebotがページをレンダリングする際に必要なリソースがブロックされていた場合、URLを表示する機能を追加。	-
		http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/03/unblocking-resources-with-webmaster.html	
03/17	ドアウェイページ・アップデートを予告	検索エンジンのためだけに作成されたユーザーの検索体験を損ねるような誘導ページについて、アルゴリズム更新を近日中に開始すると発表。	P06
		http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/03/an-update-on-doorway-pages.html	
03/19	質問を理解し答えをダイレクトに表示する新機能を導入	質問されたキーワードに応じて、答えがウェブ上にある場合、該当する部分をわかりやすく検索窓の下に表示する検索機能のアップデートを発表。	P07
		http://googlejapan.blogspot.jp/2015/03/google.html	
03/24	ハッキングされたサイトの復旧事例	ハッキングされた2つのサイト「複数のスクリプトが挿入されたケース」「不審なコンテンツが追加されたケース」の復旧事例を紹介。	-
		http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/03/case-studies-fixing-hacked-sites.html	
03/26	インパクトチャレンジ	テクノロジーの活用を通じ、社会問題の解決にチャレンジする非営利団体を支援するプログラム「インパクトチャレンジ」の受賞団体を発表。	-
		https://impactchallenge.withgoogle.com/japan	

Yahoo! JAPAN

日付	タイトル	概要	詳細
03/17	CCCと情報連携を開始	T会員の購入やポイント利用履歴、Yahoo! JAPAN ID登録者のネット広告の閲覧履歴などの情報を、4月1日から相互提供することを発表。	-
		http://docs.yahoo.co.jp/info/notice/150317.html	
03/19	米Yahoo! 中国から完全撤退	中国から戦略的撤退を徐々に行ってきましたが、北京の同社従業員の2%程度に当たる200~300人を解雇することで研究開発施設を閉鎖、中国から完全に撤退。	-
		http://www.zdnet.com/article/yahoo-getting-out-of-china-layoffs-expected/	
03/30	検索結果の削除方針を公開	検索サービスの検索結果に対してプライバシー侵害などの非表示措置を求められた場合の対応について、その方針・基準を新たに公開。	P08
		http://publicpolicy.yahoo.co.jp/2015/03/3016.html	

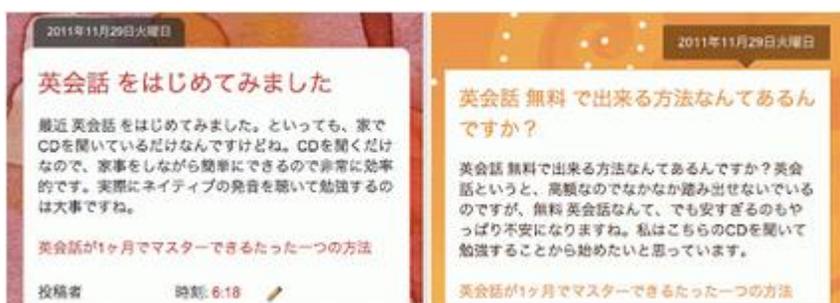
「ドアウェイページ・アップデートを予告」

今月のトピックス01

ユーザーの検索体験の品質に悪影響を及ぼす可能性がある、検索エンジンのためだけに作成された誘導ページについての品質に関するガイドラインを更新。適切なページをユーザーに届ける検索結果の品質向上を目的として、ランキングの調整を近日中に開始することを発表しました。該当する代表的なケースは以下を参照ください。（導入可否は不明）

その①

品質の低いコンテンツに、ある特定サイトへのリンクを追加してユーザーを誘導しているケース。



その②

地域ごとのページを意図的に複数制作し、同一サイトへユーザーを誘導しているケース。



その③

サブドメインを使って類似ページを多数制作しているケース。

その④

サイト内で行き来ができず孤立し、かつコンテンツ内容が重複しているケース。（類似LPなど）

上記の判断基準に該当しなくとも、検索エンジンのためだけに制作したサイトは該当する可能性が高いのでご注意ください。

「質問を理解し答えをダイレクトに表示する新機能を導入」

今月のトピックス02

検索クエリに対する答えを検索窓の下に直接表示する機能がGoogleにあります。2014年1月にアメリカで導入され、ワンボックスまたはアンサーボックスと呼ばれている機能です。（正式名称ではありません）
日本では2014年7月から「～とは」検索や「会社名」で導入していましたが、対象クエリを拡大させた新機能が正式にGoogleから発表されました。

2014年7月導入「～とは」検索

SEOとは、「検索エンジン最適化 (search engine optimization)」または「検索エンジン最適化業者 (Search Engine Optimizer)」の頭文字です。
SEO業者を利用するかどうかは、サイトの改善や時間の節約につながる可能性がある一方で、サイトや運営者の信用が損なわれるおそれもある重大な決定です。SEO業者を利用するメリットと、無責任なSEO業者によってサイトが被害を受ける可能性について必ず検討してください。

SEOが必要なケース - ウェブマスター ツール ヘルプ
<https://support.google.com/webmasters/answer/35291?hl=ja>

2014年8月導入「会社名」検索

フルスピード

会社

株価: 2159 (TYO) ▼601 +17.00 (+2.91%)

4月1日 15:00 JST - 免責事項

本社所在地: 日本

設立: 2003年12月15日

2015年3月導入「各種クエリ」検索

"Google"という名前は"googol"(グーゴル)という言葉の綴りまちがいに由来する。1997年にラリー・ペイジたちが新しい検索エンジンの名前を考えてドメイン名として登録した際、googol.comをgoogle.comと綴りまちがえたのがその起源と言われる。"googol"という言葉は、アメリカ合衆国の数学者、エドワード・カスナーの甥のミルトン・シロツタによって作られたもので、1グーゴルは 10^{100} (1のあとに0が100個続く数・10の100乗と読む)である。この言葉に似た言葉を社名にしていることで「World Wide Web上の膨大な情報の組織化がGoogleの使命であることを意図している」という考え方がある。

Google - ウィキペディア

ja.wikipedia.org/wiki/Google

上記の3月導入のキャプチャーは「Google 由来」クエリですが、その他にも「テザリングとは」「ふるさと納税とは」でも表示されるように、対象クエリが拡大されています。以下注意点は、

- ✓ 全てのクエリで表示されるものではありません。
- ✓ クエリに対して適切であると判断した情報がWebサイト内にある場合に限り表示されます。
- ✓ 必ずしも上位に表示されているサイトから引用されるものではありません。

「 検索結果の削除方針を公開 」

今月のトピックス03

検索結果に対してプライバシーなどの非表示の措置を求められた場合の対応について、2014年11月に設置した「検索結果とプライバシーに関する有識者会議」で表現の自由や知る権利とプライバシーをいかにバランスよく実現するかを検討していました。今回、その方針・基準を新たに公開しました。

公開された基本方針

01. プライバシー侵害に関する判断

被害申告者が非表示を求める情報について、その情報を公表されない被害申告者の法的利益とその情報を公表する理由との比較衡量を行います。

02. 検索結果のウェブページのタイトル、スニペットの非表示措置に関する判断

検索結果の表示内容自体から（リンク先ページの記載を見るまでもなく）権利侵害が明白に認められる場合は、当該権利侵害記載部分について非表示措置を講じます。

03. プライバシー侵害とされる情報が掲載されているウェブページ（以下、リンク先ページ）へのリンク情報の非表示措置に関する判断

被害申告者からリンク先ページ管理者又はプロバイダに対して削除を命じる裁判所の判決（又は決定）の提出を受けた場合には、原則として非表示措置を講じます。

Yahoo! JAPANは従来、プライバシーと表現の自由や知る権利、双方のバランスを取りつつ過去の国内判例などを参考にしながら慎重な判断をしてきましたが、近年プライバシーの関心が高まっていることから従来取り組んできたことを明確に提示し、外部に知らせる必要があると判断したとのことです。

イベント情報

Webマーケティングに関わるイベントやセミナーなどお役立ち情報をご紹介します。



UI

UX Days Tokyo 2015

2015年4月17日（金）～19日（日）10：00～

アキバホール、ADK松竹スクエア、歌舞伎座タワー

<http://2015.uxdaystokyo.com/>

Web全般

NEW

Web担当者Forum ミーティング 2015 春

2015年4月23日（木）10：00～17：15

ベルサール汐留

<https://web-tan.forum.impressrd.jp/events/201504>

スマートフォン

第5回 スマートフォン & モバイル EXPO 春

2015年5月13日（水）～15日（金）10：00～18：00

東京ビッグサイト

<http://www.smart-japan.jp/>

Web全般

CSS Nite LP41 Webマスターのためのスキルセットの棚卸し（仮）

2015年6月20日（土）時間未定

ベルサール九段

<http://cssnite.jp/>

コンテンツ

コンテンツ東京 2015

2015年7月1日（水）～3日（金）10：00～18：00

東京ビッグサイト

<http://www.content-tokyo.jp/>

SEO Report

全体的な
順位変動の状況
Section 02

順位変動状況サマリー

2015年3月の順位変動に関するサマリーコメント

3月は前月と同様に大きなアルゴリズム刷新はありません。前月比も「1.14」から「1.12」と数値は下がっており、変動の幅が低い比較的安定した月でした。

3月19日に「1.20」と最も大きな変動を観測、前日差は以下の結果でした。

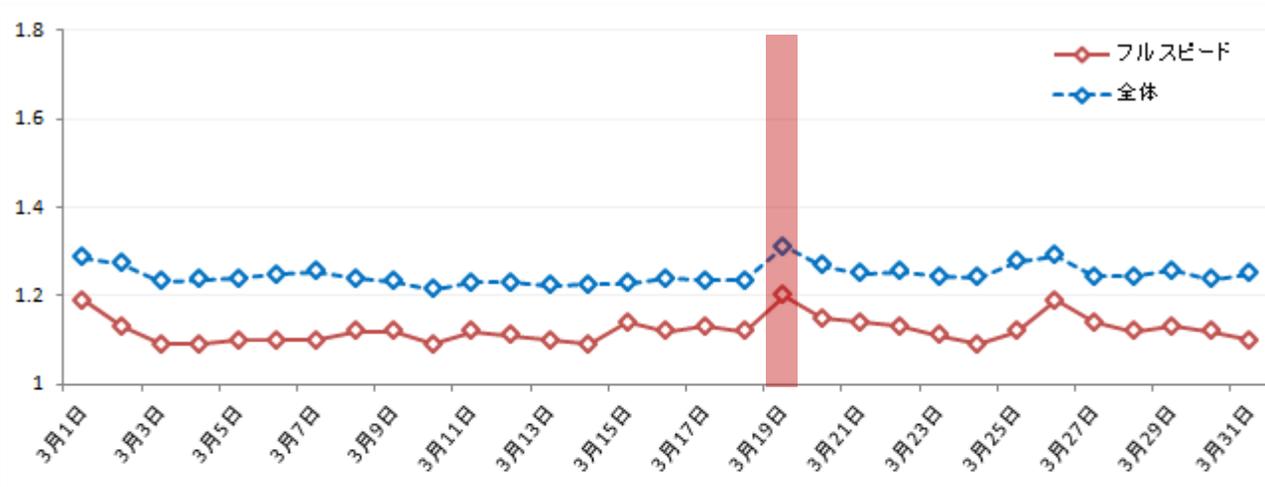
前日から上昇している割合：23.2%

前日と変わらない割合：52.3%

前日から下落している割合：23.5%

全体の約47%に変動がありましたが、上下変動は同数で変動幅も小さいことからインデックスの調整あるいはテストと思われます。

Googleの順位変動率の推移（2015/3/1～2015/3/31）

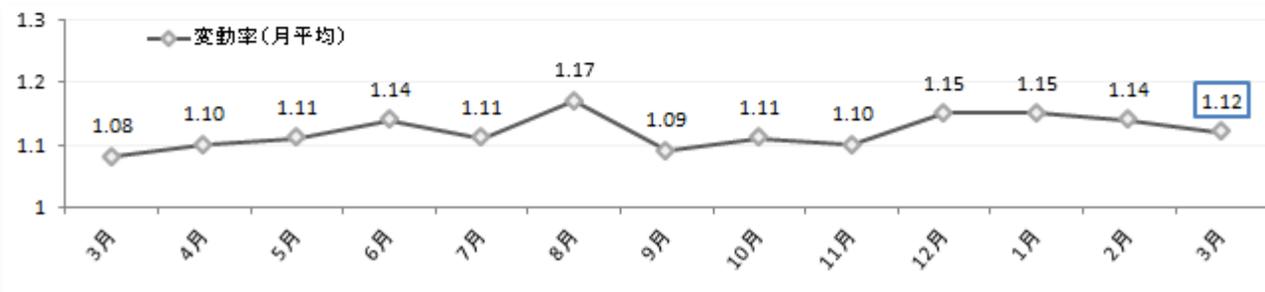


グラフの項目

全体

フルスピード

弊社で観測している様々なキーワードも含む市場全体の順位変動傾向
弊社で対策を実施しているキーワードの順位変動傾向



※変動率に使用したデータ：

上位表示される難易度に応じ、フルスピードが独自に選定しモニタリングしているビックキーワード・ミドルキーワード・スモール/複合キーワードの数千キーワードのデータを使用、独自の計算に基づき算出しています。

Googleの公式発表ではありませんのでご注意ください。

SEO Report

Growth Seed VOICE
Section 03

Growth Seed _ 最新記事紹介

当社のSEOコンサルタントやその道の専門家が発信する知識、現場で使える無料レポートの公開、毎日の順位変動状況など情報を出し惜しみすることなく、ユーザーの方に満足していただけるような専門情報をお届けしています。

サイト成長の種を贈るフルスピードSEOブログ
<http://growthseed.jp/>



最新記事のご紹介



「機械学習アルゴリズムまとめ」

ウェブ担当者が「機械学習ってどんなことをやっているのだろう？」という場合に勉強できるスライドをまとめた記事です。

<http://growthseed.jp/experts/patent/machine-learning/>



「モバイルフレンドリーテストだけで完璧?! 本気に確認しておくべき3つの事」

4月21日に導入が予定されているGoogleのモバイルフレンドリーアルゴリズムへの対応について、本当にチェックしておくべきポイントをおさえた記事です。

<http://growthseed.jp/experts/contents/mobile-friendly/>



「クラスタ分析：機械学習で行うデータ分析手法の紹介」

先に公開した機械学習アルゴリズムのなかで、導入がとても簡単なクラスタ分析を紹介する記事です。

<http://growthseed.jp/experts/patent/data-mining-cluster/>

対策事例 _ サイト移転の際にリダイレクトを忘れたら！？

サイトを別ドメインに移転する際、301リダイレクトを設定する必要があります。これは、ユーザーが新規ドメインにスムーズに遷移できること、そして旧ドメインのリンクパワーを新規ドメインに受け継ぐ利点がある事から、ドメイン移転の際には必ず301リダイレクトを設定する必要があります。

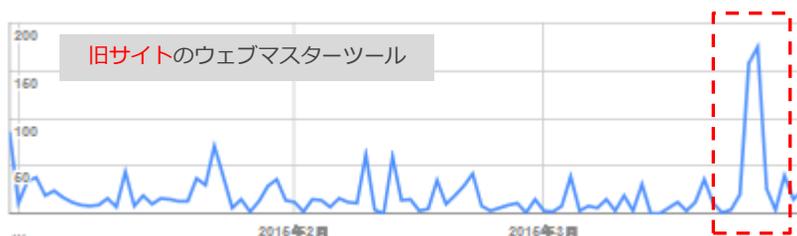
今回ご紹介するのは、ドメイン移転の際にリダイレクト処理をせずに旧ドメインのページを全削除、新規ドメインサイトの大幅にアクセスが下落してしまったサイトを復旧した事例です。

対処した内容

1. 旧サイトをサーバに再アップ
2. 旧サイトから新サイトへ301リダイレクトを設定
3. クローラを呼び込むため旧サイトのxmlサイトマップを作成しGoogleへ送信
4. クローラを呼び込むためFetch as Googleで復活させたページを登録

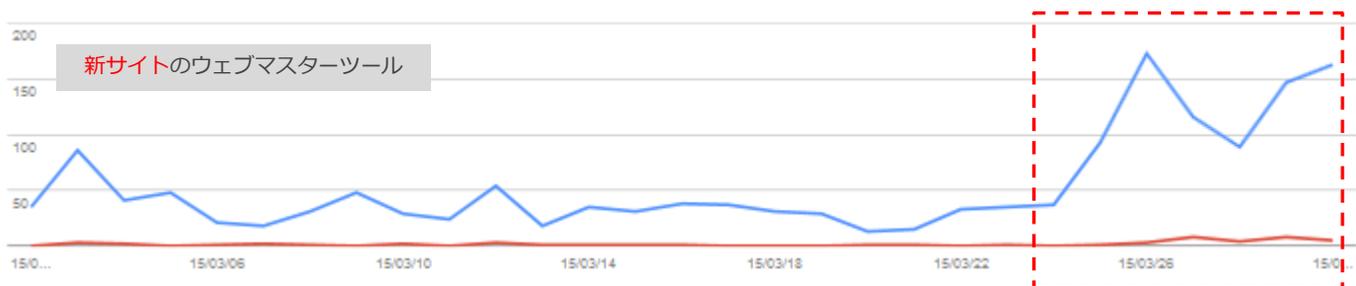
対処後① クローラの来訪

クローラが旧サイトへ即日で来訪し再アップしたページを認識、クローラの来訪が瞬間的に高まりました。



対処後② 検索クエリの増加

クローラが来訪した数日後に新サイトで検索クエリが増加、旧サイトで上位表示していた一部のキーワードが新サイトで戻っていることを確認。復旧完了です。



かなり特殊な事例ですが、301リダイレクトの重要性が改めて分かったことと、Googleのクローラの来訪速度、さらにインデックスへの登録スピードの速さが認識できた事例です。

特集_ モバイルフレンドリーのアルゴリズム導入の概要

「In-house SEO Meetup sponsored」に登壇されたGoogle長山さんのコメントを中心に、4月21日に導入が予定されています「モバイルフレンドリー」の概要をQ&A形式でご紹介いたします。

Q1 導入によるインパクトはどれほどあるのでしょうか？

Google の検索結果に大きな変化をもたらします。

Q2 導入は1日で完了するのでしょうか？

完了するまでには、2、3日程度、長ければ1週間ほどの時間がかかる見込みです。

Q3 アルゴリズムの対象になる要素はモバイルフレンドリーテストに合格すること？

現時点では品質は関係なく、モバイルフレンドリーテストに合格すれば大丈夫です。

Q4 サイト全体でモバイルフレンドリーではないページが多かった場合、サイト全体の評価が下がることはあるか？

完全にページ単位です。

Q5 PCにも影響するのでしょうか？

スマートフォン順位（モバイル検索）だけに影響します。

Q6 モバイル対応していないページは、スマートフォン検索に表示されない？

モバイル対応していないからといって、検索結果から削除することはありません。

Q7 PageSpeed Insightsでページスピードが遅いと診断されたら問題になるのか？

現時点では、モバイルフレンドリーテストが全てです。

Q8 PCサイトの表示速度が現状では判断基準になっており、モバイルサイト自体のスピードが対象になっていない。変更する可能性はあるのか？

対応したら発表します。

Q9 アップデータを4月21日にした意味はあるのでしょうか？

今回のアップデートにおいて4.21に深い意味はありません。

特集_ 百度 JAPANが検索サービスを終了

中国の検索エンジン「百度 JAPAN（日本サイトです）」が3月16日に検索サービスを終了しました。今アクセスをすると検索窓が削除されており、「検索サービス終了に関する問い合わせ」のリンクが追加されています。



Yahoo! JAPAN	: 2010年12月に検索サービスから撤退、Google検索エンジンと提携
NAVER	: 2013年12月に検索サービスから撤退
百度 JAPAN	: 2015年3月に検索サービスから撤退

というように、日本では検索サービス事業から撤退する企業が増えています。

日本では「Google」と「Bing」しか残っておらず、ほぼGoogleの独占市場になっています。

SEO新サービス _ファンコンテンツ

ファンコンテンツは、「オリジナルコンテンツが無い」、「SNSへの投稿ネタが無い」、「NativeAd用のLPが無い」、「他社とコンテンツが差別化しきれていない」、「商品がイマイチ認知されない」という悩みを解決するための新たなコンテンツサービスです。

ファンコンテンツの特色

キーワード選定先行、記事数重視のコンテンツよりも、その企業の理念、サービスの価値をより深く反映することができる記事、競合サイトと差別化できるオリジナリティのある記事が作成できます。ファンコンテンツを展開することで、企業、サービスへの信頼感、親近感の向上、継続的に訪れてくれるユーザーの増加、SNSでの拡散などが見込めます。

ライターや校正・編集の経験年数が長いWebエディターが担当することも特徴の一つです。

対応コンテンツの範囲

企画から調査・コンテンツ制作まで、こだわりあるコンテンツを丁寧に制作いたします。

カテゴリA インタビュー・取材企画	
1) 座談会企画	6) 分析企画
2) インタビュー企画	7) 何でもベスト3企画
3) 実践企画「〇〇をやってみた！」	8) 「会社お見せします」企画①
4) ギモンにお答え企画	9) 「会社お見せします」企画②
5) 〇〇の知恵袋企画	10) 「会社お見せします」企画③
カテゴリB 調査・統計企画	
11) アンケート型企画	15) 数字でポン！企画
12) ユーザーの声企画	16) ソレ、あるある！企画
13) 診断企画	17) 答えられるかな!? クイズ企画
14) 〇〇ヒストリー企画	



詳しい内容をお求めの方は、担当営業までお気軽にお問い合わせください。

月刊SEOレポート 2015年3月版

- Monthly SEO Report vol.60 -

発行 2015年4月3日

発行者 SEOコンサルティング事業部

発行所 株式会社フルスピード (<http://www.fullspeed.co.jp/>)

東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー8F

03-5457-7727

1. 当社が独自に調査した結果をまとめた2015年3月末の情報です。
2. 全体傾向をまとめたレポートとなりますので、お客様サイトの状況と合致していない内容も含まれていることご理解ください。
3. 無断複製・無断配付・無断公開は禁止しております。



Full Speed

Ad Technology & Marketing Company